

令和3年8月 発地別延べ宿泊者数割合

【国内】

(単位：人泊、%)

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和3年8月(速報値)	49,747	78,714	28,863	3,637	14,125	18,228	6,835	28,430	1,570	230,149
令和2年8月(速報値)	37,422	85,191	28,932	3,632	10,732	15,486	5,420	17,859	1,227	205,901
前年同月比	132.9	92.4	99.8	100.1	131.6	117.7	126.1	159.2	128.0	111.8
2019年8月(確報値)	48,895	116,407	90,222	16,432	40,519	34,558	15,809	52,179	3,840	418,861
2019年同月比	101.7	67.6	32.0	22.1	34.9	52.7	43.2	54.5	40.9	54.9
2018年8月(確報値)	52,582	119,859	88,456	14,933	36,539	32,870	14,623	51,665	2,666	414,193
2018年同月比	94.6	65.7	32.6	24.4	38.7	55.5	46.7	55.0	58.9	55.6
令和3年7月(速報値)	53,388	78,561	34,360	4,245	12,644	15,899	5,805	26,485	1,499	232,886
前月比	93.2	100.2	84.0	85.7	111.7	114.6	117.7	107.3	104.7	98.8

【国外】

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和3年8月(速報値)	*	*	*	*	*	*	*	863
令和2年8月(速報値)	13	26	0	9	0	276	228	552
前年同月比	*	*	*	*	*	*	*	156.3
2019年8月(確報値)	7,759	6,402	8,530	11,730	523	1,496	1,963	38,403
2019年同月比	*	*	*	*	*	*	*	2.2
2018年8月(確報値)	23,009	6,992	8,839	11,698	218	1,310	1,538	53,604
2018年同月比	*	*	*	*	*	*	*	1.6
令和3年7月(速報値)	*	*	*	*	*	*	*	2,752
前月比	*	*	*	*	*	*	*	31.4

* 令和2年、令和3年発地別宿泊者数は、サンプル数が過小のため表示しない

【全体】

	合計
令和3年8月(速報値)	231,012
令和2年8月(速報値)	206,453
前年同月比	111.9
2019年8月(確報値)	457,264
2019年同月比	50.5
2018年8月(確報値)	467,797
2018年同月比	49.4
令和3年7月(速報値)	235,638
前月比	98.0

①R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(186施設)に変更しました。
この変更に伴い、R2年、2019年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。
※発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

出典：大分県観光統計調査

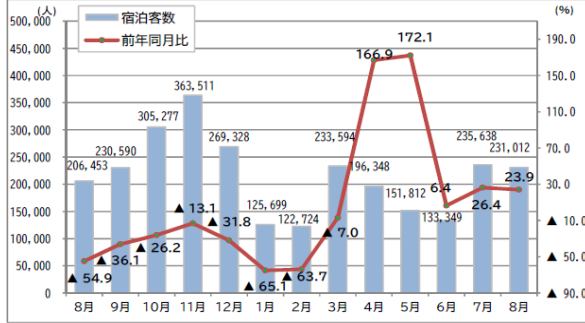
<傾向・分析>

- ・国内の延べ宿泊者数は前年同月比111.8%。前々年同月比は54.9%、前前々年同月比は55.6%。夏休み需要で旅行者の伸びる例年に比べ、コロナの感染者が拡大した今夏はコロナ前の水準と比べ約5割程に留まる。
- ・国内の延べ宿泊者数の前月比は98.8%。6月末に沖縄を除く全国で緊急事態宣言が解除され7月に入って宿泊者数は増加したが、7月末より全国で感染者数が再度増加、大分県内の感染者数も増加したことから、夏休み期間で例年であれば需要の多い月だが、7月に比べ微減となった。
県内においても、6月14日からの「新しいおいた旅割」再開後、宿泊客の増加が見られたが、8月に入り感染者の増加に伴い8月17日にはステージ3へ引き上げ、「新しいおいた旅割」も新規予約受付を再度中止としたため、7月に比べ宿泊客は減少している。
- ・国外の延べ宿泊者数は、前月比31.4%。東京オリンピック関連の滞在者等の影響もあり増加した前月に比べると大幅に減少。前年同月比は156.3%と増加しているが、前々年2.2%、前前々年同月比は1.6%とコロナ禍前と比べると依然として低水準が続く。
- ・全体の延べ宿泊者数は前年同月比111.9%。前々年同月比は50.5%、前前々年同月比は49.4%と、コロナ禍前の水準からは約5割程に留まる。

令和3年8月の宿泊客等の動向
(令和2年7月～12月速報、令和3年1月～7月速報)

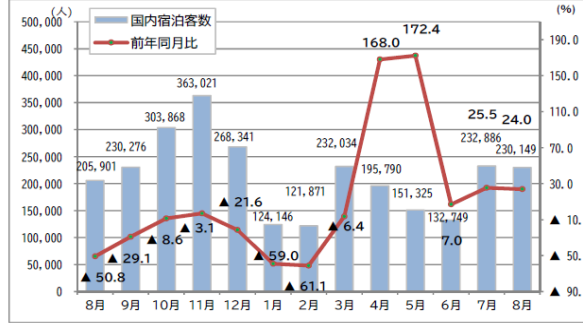
(1) 宿泊客の動向

令和3年8月の宿泊客数の前年同月比は、速速報で+23.9%となる見込み。



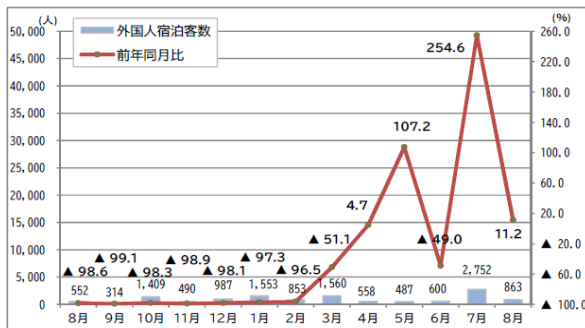
(1)-①日本人宿泊客の動向

令和3年8月の日本人宿泊客数の前年同月比は、速速報で+24.0%となる見込み。



(1)-②外国人宿泊客の動向

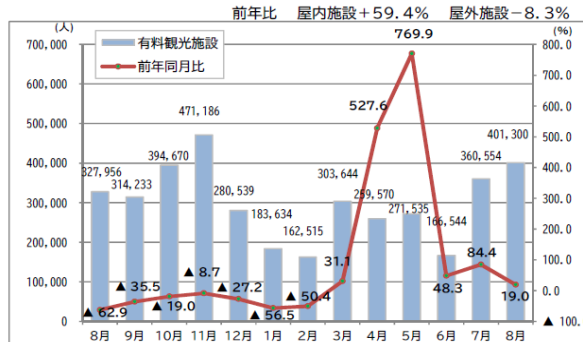
令和3年8月の外国人宿泊客数の前年同月比は、速速報で11.2%となる見込み。



※R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(186施設)に変更しました。この変更に伴い、R2年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。

(2) 有料観光施設(入場客)の動向

令和3年8月の有料観光施設(入場客)の前年同月比は、速速報で+19.0%となる見込み。
(調査対象施設29施設)



※観光施設の前年同月比は、休業業・未提出施設を除いて算出しているため、過去に公表している値と比較すると一致しない場合があります。

出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- 日本人宿泊客は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が解除された昨年6月から徐々に回復、GoToトラベルキャンペーン実施に伴い増加するも、秋頃からの感染者数の増加、12月にGoToトラベルの一時停止や1月には一部地域に緊急事態宣言が発令されたことなどにより再び減少に転じる。その後、3月に緊急事態宣言の全面解除や、県民向け「新しいおいた旅割」等の影響で増加したが、4月に入り全国で感染者数が増加、全国各地で「まん延防止等重点措置」の適用や緊急事態宣言が発令され、5月も更に拡大・延長し、6月まで宣言は延長。6月20日に9都道府県にて緊急事態宣言が解除されたのち、7月には増加に転じるものの、7月末からの感染者数の増加や緊急事態宣言地域の拡大などにより8月の宿泊客数は減少。
- 有料観光施設の動向については前年同月比119.0%と増加。対前月比においても増加しており、8月に入り宿泊客は減少したが、夏休み期間ということもあり日帰りで観光施設を楽しむ人は増加したと見られる。
- 外国人宿泊客は、東京オリンピック関連の滞在者等の影響により増加した前月に比べると大幅に減少。入国制限は継続されているため、観光目的での宿泊客数は依然として低水準が続く。
- 全体においては、未だインバウンドの回復が見られない中、国内宿泊者の動きがそのまま反映されたかたち。